

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和8年2月20日

計画の名称	佐倉市における安全・安心な下水道整備(防災・安全)(重点計画)												
計画の期間	平成30年度～平成32年度(3年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	佐倉市												
計画の目標	公共下水道の整備を推進することで、下水道施設の機能保全及び安全性の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	628	A	538	B	-	C	90	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	14.33	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28末	H30末	H32末
①	①避難所等のマンホールトイレ設置率を0.0%(H28)から77.8%(H32)に増加させる。 ①避難所等のマンホールトイレ設置率 マンホールトイレの設置された避難所数(箇所) / マンホールトイレの設置すべき避難所数(箇所)	0%	33%	78%
②	②下水道による都市浸水対策達成率を65.8%(H28)から66.0%(H32)に増加させる。 ②下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha) / 浸水対策を実施すべき面積(ha)	66%	66%	66%
③	③雨水管理総合計画の策定を完了させる。 ③雨水管理総合計画策定達成率 策定済みの計画数/雨水管理総合計画として策定すべき計画数	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

当初1つの整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益費	個別施設計画策定状況	
												H28	H29	H30	H31/R01	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	管渠(汚水)	新設	マンホールトイレシステム整備	災害用トイレの整備	佐倉市	■	■	■			331	-	策定済	
	A07-002	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	管渠(雨水)	新設	鹿島川第2一号幹線整備事業	□1200×□1500 L=47m	佐倉市	■					27	-	-	
	A07-003	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	管渠(雨水)	新設	上高野一号枝線整備事業	φ900 L=204m	佐倉市			■			136	-	-	
	A07-004	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	管渠(雨水)	改築	手繰川第1五号幹線改築事業	□1800×□1400 L=100m	佐倉市						0	-	策定済	
	ストックマネジメント																			
	A07-005	下水道	一般	佐倉市	直接	佐倉市	-	-	雨水管理総合計画策定	雨水管理総合計画策定	佐倉市	■	■					44	-	-
												小計						538		
												合計						538		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>佐倉市上下水道部における社会資本総合整備計画評価委員会設置要領に基づき、佐倉市社会資本総合整備計画評価委員会において実施</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和8年2月</p> <p>公表の方法</p> <p>市ホームページで公表</p>
--	---

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>【総合地震対策事業】 避難所である小学校にマンホールトイレを整備したことにより、災害時のライフライン機能を確保した。 地震発生時における重要な下水道施設の機能確保率を上昇させた。</p> <p>【浸水対策】 浸水による影響が大きい地域において雨水幹線を整備したことにより、都市浸水リスクの低減に寄与した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>【総合地震対策事業（効果促進）】 マンホールトイレ整備事業に併せ資機材を整備することにより、地震対策事業の効果促進が図れた。</p>

○特記事項（今後の方針等）

<p>【総合地震対策事業】 総合地震対策計画に基づき、引続き耐震化を推進する。</p> <p>【浸水対策事業】 雨水管理総合計画に基づき、引続き優先度の高い地域から浸水対策を推進する。</p>
--

○目標の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	避難所等のマンホールトイレ設置率		
	最終目標値	78%	
最終実績値	100%		
2	下水道による都市浸水対策達成率を65.8%（H28）から66.0%（H32）に増加させる。		
	最終目標値	66%	
最終実績値	66%		
3	雨水管理総合計画策定達成率		
	最終目標値	100%	※佐倉市単独事業で実施
最終実績値	100%		

計画の名称 佐倉市における安全・安心な下水道整備（防災・安全）（重点計画）

計画の期間 平成30年度 ～ 平成32年度（3年間）

交付対象 佐倉市

